

福生市の特別支援教育

東京都特別支援教育推進計画について

東京都では、平成16年度に「東京都特別支援教育推進計画（第一次計画）」を策定し、障害のある子どもに対する特別支援教育の導入を図り、全国的に特別支援教育への取組を進め、昨年11月、特別支援教育推進計画の第三次計画が発表されました。

この第三次計画は、3年単位で作成された第一次、第二次計画とは異なり、平成23年度から28年度までの6カ年を見通して作成されました。そこで、今後の特別支援教育の推進についての指針である第三次計画においてポイントとなる部分を何点か取り上げ、説明します。

【重層的な支援体制の整備】

第三次計画には、全ての小・中学校に「特別支援教室」を設置することが示されています。これは、発達障害のある児童・生徒の中で、学級での学習におおむね適応できているものの、一部、特別な教育的支援が求められる児童・生徒を対象としたものであり、一部の授業について、自校に設置した「特別支援教室」で学習し、市内の通級指導学級の先生が巡回して指導を行うものです。

この「特別支援教室」を第1層とし、第2層に通級指導学級、第3層に固定学級を位置付け、各区市町村で、児童・

生徒の障害の程度に合わせた重層的な指導をしていきます。これについては、平成28年度から導入をするとしています。平成24年度からモデル事業として実施し、施設面や人的な配置について検証することとなっています。

【つながりを大切にしながら特別支援教育の推進】

これまで同様、幼児・児童・生徒一人一人のニーズに応じて適切な指導と必要な支援を行うため、関係者及び関係機関の一層の連携が求められています。そのために、個別の教育支援計画の作成・活用や、特別支援学校のセンター的機能を活用した地域支援の充実など、関係者のつながりを大切にしながら特別支援教育の推進が掲げられています。

【自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進】

第一次、第二次計画に続き、職業教育、進路指導、就学支援の充実など、障害のある児童・生徒の将来の自立と社会参加に向けた取組の一層の推進が掲げられています。

【つながりを大切にしながら特別支援教育の推進】

このように東京都特別支援教育推進計画第三次計画は、本市の特別支援教育に大きな影響があるものです。今後もこの計画を参考にしながら、福生市の特別支援教育の一層の推進に向け努めてまいります。

なお、特別支援教育推進計画は、東京都教育委員会のホームページで見ることができ

ます。

小・中学校の体力向上に対する取組
昨年「平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等の調査が実施され、その結果、児童・生徒の体力や運動能力の低下傾向が指摘されています。そこで、子どもたちの体力向上に向けた取組として、東京都では小・中学校における二校一取組、小学校における「二学級一実践」を推進しています。市内小学校では、休み時間等を利用した体を動かす習慣作りの活動を学校ごとに実施するとともに、縄跳びカード等を利用した学級ごとの取組をしており、中学校では体育の授業前に調査結果のポイントが低かった運動を中心として

「いじめ防止標語」優秀作品決定

いじめのない明るい社会づくりへの意識を高めることをねらいとして、2月に市内小・中学校の児童・生徒から「福生いじめ防止標語」を募集し、応募総数2329点の中から優秀作品が決定しました。（敬称略、学校順）

- ・いいことば 言ったらみんな きもちいい☑ 一小 松下 温紀
・ごめんねと 目を見て言えば なかよしに☑ 一小 峰岸 知萌
・「だめだよ」と 言える君は かつこいい☑ 二小 当麻 菜生
・気を付けて！ 心のきずは なおらない☑ 二小 城戸 さくら
・かんがえて いじめられてる 子のことを☑ 三小 日下部 潤
・ごめんなさい ありがとう 大切なのは 思いやり☑ 三小 奥山 侑祐
・きみのこと かならずだれかが 見ているよ☑ 四小 伊藤 萌乃
・とめようよ 見ているだけじゃ 終わらない☑ 四小 高橋 聖奈
・一歩下がって考えよう きみはいじめを していないかい？☑ 五小 石川 真妃
・誰かに話そっ 心の悲鳴☑ 五小 栗原 天海
・なればいい なかまはずれの ないせかい☑ 六小 吉澤 薫
・知らぬまに 人の心を きずつける 言葉一言 気を付けよう☑ 六小 横山 美久
・いじめっ みんなのえがお とりもどそう☑ 七小 飯塚 悠月
・差しのべる その手をだれかが 待っている☑ 七小 登坂 理央
・やめようよ 相手の傷は あなたの傷☑ 一中小 村野 真美
・いじめとは 人を傷つける 凶器です☑ 一中小 山崎 京子
・やめようよ 勇気を出して 言ってみよう☑ 二中小 笹本 智貴
・みんなの笑顔 かなしみの色に そめないで☑ 二中小 鈴木 伶奈
・さしのべる その手が心の 支えとなる☑ 三中小 松村 龍一
・いじめはね 自分の心の 弱みだよ☑ 三中小 檜森 瑞稀

問合せ 指導室 学務・指導係 ☎551・1948

第六小学校 宇宙ケヤキ記念植樹



福生第六小学校は、昨年度創立40周年を迎えました。これを記念して、2月22日に、「宇宙ケヤキ」の苗を植樹しました。「宇宙ケヤキ」とは、スペースシャトルで宇宙を旅したケヤキの種子から成長した苗のことです。この度、希望した学

校に配布されました。この苗が力強く根をはり、やがて大きな木となる頃には、子どもたちも福生の地から世界へ、そして宇宙に羽ばたいてほしい、そんな願いを込めて、卒業生全員とPTAによる記念植樹となりました。「宇宙ケヤキ」は校庭で見ることが出来ます。

第三中学校のランチルームを紹介しします



今回は、平成18年4月にオープンした福生第三中学校ランチルーム「せせらぎホール」を紹介しします。

「せせらぎ」と言う名前は、学校近くの多摩川の優しい流れから命名されました。室内は木目調の落ち着いた仕上げで天井も高く、明るい空間になっています。

献立は、自ら選択できる複数のメニューがあり、日替わりランチは中学生の食事として、国の学校給食摂取基準を参考に栄養バランスを考えた和食中心のメニューを取り入れる等、工夫をしています。席数は130席あり、自由に利用できるため、多くの生徒に利用されています。また、3月には、初めて会場産の「ほうれんそう」を使用したランチを提供しました。今後も市内で採れた新鮮な地場野菜を定期的に使用する予定です。

問合せ 学校給食課 給食第一係 ☎551・1344

「600」は 見守りの600

福生第六小学校副校長 第六小学校PTAでは「600の日」はちよつとそこまでお出迎えの「スローガン」を掲げ、児童の見守り活動への参加を呼びかけています。PTAの防犯組織は、安全パトロール隊と安全メール隊があります。登下校の見守りは、福生市交通安全推進委員の添田金三さんが中心となり、町内会、地域ボランティア、PTA保護者の方々にご協力をいただいております。

でも児童の安全を第一と考え、緊急に集団下校を実施しました。その際には、学校からは携帯電話による緊急メールとプリント配布、PTAとも協力して緊急連絡網を使い、注意を促す情報を発信しました。添田さんが町内会にも声をかけてくださり、集団下校の際は、緊急連絡を聞きつけたPTA・保護者や地域の方が、児童の安全確保のために学校に駆けつけてくださいました。全職員で学区を巡回したところ、通学路から道路の端々まで多くの方が見守りをされていたとの報告を受けました。

また、次の登校時に

